

学力を伸ばす! 「夢・絆・感謝」でキラリの南中 ～一生懸命がかっこいい～

学校教育目標

- み 自ら学び
- な 仲間と光り
- み 未来に鍛える



# みなみ風

生徒数  
1年生 156名  
2年生 128名  
3年生 110名  
計 394名

昭和22年(1947年)開校 創立73年目 南中学校だより「1月号」 令和2年1月8日(水)

## “もったいない”から“MOTTAINAI”へ

校長 広木 友和

新年 明けましておめでとうございます。いよいよ世界中の人が日本に集うオリンピックキヤーが始まりました。旧年中、保護者、地域の皆様には、本校の教育活動に御理解と御協力をいただきまして、ありがとうございました。本年も子供たちの健やかな成長のために、お力添えをいただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

店員 ピーの電子音の後、「消費期限が過ぎておりますので、販売することができません。」

私 ひとつ残っていた大好きなカレーパンだったので、「過ぎていても買いますよ。」

店員 「申し訳ございません。本社の規約で販売することができないのです。」

私 心の中で(もったいないな・・・)



7と11がつくコンビニエンスストアでの一コマです。カレーパンは何処に・・・

昨年度の農林水産省資料によると、日本の国民一人当たりの食品廃棄物量(年間134kg=牛丼335杯分!)は世界で6番目、アジアではトップです。“もったいない精神”を大切にしてきた私達日本人、まず、一人ひとりができることを真剣に考え、行動に移したいものです。まずは好き嫌いをなくし、規則正しい食生活からか・・・

“もったいない”の日本語に感銘を受け、世界共通語“MOTTAINAI”として、広めることを提唱した人がいます。環境分野で初のノーベル平和賞を受賞したケニア人女性、ワンガリ・マータイさんです。環境3R + Respect = もったいない Reduce(ゴミ削減)、Reuse(再利用)、Recycle(再資源化)という環境活動の3Rをたった一言で表せるだけでなく、かけがえのない地球資源に対するRespect(尊敬の念)が込められている言葉が、美しい日本語“もったいない”なのです。(なるほど!)

さて、私たち日本人はどのような場面で“もったいない”の言葉を使うのでしょうか・・・  
①食事の際の食べ残しや使えるものを処分するとき、②無駄な時間や物を使うとき ③過分なお気持ちや物、チャンスや機会を得たとき、更にそれを失ったとき、に使っています。生徒の皆さんには、①の場面だけでなく、②や③の場面でも、大いに“もったいない”を大切にしたいです。まず、“もったいない”時間を減らすには、生活のルーティーンが必要です。更に、好きなことだけに時間を使うのではなく、やらなければならないことに時間を使うには、確かな夢や目標が必要で、我慢も必要です。ゲームやスマホに使う時間は程々に・・・です。また、失敗を恐れて様々なことに挑戦しないことは、若い生徒の皆さんにとっては、とても“もったいない”ことです。今年、南中生みんな、時間と挑戦で“もったいない”を意識できる年に、ぜひ、していきましょう。

自国でオリンピックが開催される年、改めて、私たちは日本人のよさ、日本文化のよさを再確認、再認識する年にもしたいものです。その中で、私たちのよさに自信を持ち、そのよさを大切にしながら、また、世界を意識することが、これからの時代の豊かな(充実した)生き方なのかもしれません。“もったいない”から“MOTTAINAI”へ

2学期南中を“キラリ”と輝かせてくれた「キラリ賞」受賞者を紹介します!



**1年1組 倉井 茜花 さん**  
後期学級委員としての尽力だけでなく、仲間のために皆が気づかないことも行っている姿を誰もが認めています。

**1年2組 長瀬 悠乃 さん**  
クラスの状況を見て何をすべきか、何が必要かを的確に判断し、声かけや手伝い、気配りを積極的に行いました。

**1年3組 和田 亜莉沙 さん**  
学業や部活動はもちろんのこと、市内陸上大会の練習や南中祭でのナレーターや伴奏など、何事にも積極的に挑戦していき、学校生活に対する意識の高さを感じられました。

**1年4組 渡部 美咲 さん**  
クラスをよりよくするために、自ら進んで周りへの声かけをしたり、教室の環境をよくするために動いてくれました。

**1年5組 清水 彩花 さん**  
前期学級委員として、学級・学年がよりよい集団となるためにどうすればよいかを積極的に考えてくれました。

**2年2組 佐藤 陽 さん**  
**2年2組 宮川 亜輝斗 さん**  
**2年3組 行田 奏斗 さん**  
**2年3組 坂元 小茉莉 さん**  
今学期より始まった授業評価取り組みで「とくに頑張った人」に名前が上がった数が多かった人です。

**3年1組 坂崎 空美 さん**  
落ち着いた生活を心がけ、自分の役割に責任を持って取り組みました。授業にも真剣に取り組んでいます。また、誰とでも分け隔てなく接することができました。

**3年2組 鶴野 亜弥音 さん**  
誰に対しても優しく、平等に接することができました。クラスでも、困っている友人に声をかけたり、手を差し伸べるなど相手の気持ちを考えて行動することができました。

**3年3組 菊地 郁圭 さん**  
家庭学習に力を入れ、各教科で学んだことをノートにきれいにまとめたものを毎日提出しました。また、自分の仕事に責任を持って取り組む姿勢や、時間を見て動くなど基本的な生活習慣がしっかりと身につけています。

「学びのキラリ賞」  
1年生62名、2年生70名、3年生27名が受賞しました。この賞は、家庭学習目標時間(1年生:1時間、2年生:1.5時間、3年生:2時間)を超えた生徒に与えられる賞です。  
3学期は、さらに多くの生徒が受賞することを期待します!

【1月・2月の予定】

完全下校時刻...17:00(1月)  
17:15(2月)

1	水	元日
2	木	休日
3	金	休日
4	土	
5	日	
6	月	読書会
7	火	読書会
8	水	始業式 避難訓練
9	木	発育測定 3時間授業
10	金	通常授業開始 給食開始
11	土	
12	日	
13	月	祝日 成人の日
14	火	
15	水	
16	木	
17	金	中央委員会 千葉県私立入試集中日
18	土	読書ウィーク
19	日	資源回収
20	月	専門委員会
21	火	
22	水	埼玉・東京私立入試集中日
23	木	生徒集会 埼玉・東京私立入試集中日
24	金	
25	土	読書フェスティバル 英検
26	日	スキー教室(1年) 資源回収予備日
27	月	スキー教室(1年)
28	火	スキー教室(1年)
29	水	振替休日(1年)
30	木	
31	金	
1	土	
2	日	
3	月	
4	火	
5	水	
6	木	
7	金	中央委員会



## 東武よみうり新聞社



### 「学べ舎」取材 11/12(火)

毎週火曜日は、放課後学習教室「学べ舎」が行われる日です。最近、地域の方や他校の先生方からよく「学べ舎」について質問されます。この日は、東武よみうり新聞社の記者が取材に来て、校長先生に色々な質問をしていました。



## 2学期終業式 12/24(火)

校長先生から1年生は「1学期以上に明るく笑顔で挨拶ができるようになった。」2年生は「様々な場面で堂々と自信を持って行動している姿が見られた。」3年生は「自覚と誇り、プライドを学年として感じる事ができた。」というお褒めの言葉をいただきました。



## 首里城火災復興支援募金 12/24(火)～

首里城火災復興支援募金が3日間おこなわれました。生徒から提案があり、生徒会本部が中心となって行いました。地域の方や生徒、先生方からたくさんの御協力をいただきました。中には、2日間も募金に協力してくれた生徒もいました。3日間の合計金額は22,246円です。



## SNS講習会(1年) 12/16(月)

埼玉県ネットアドバイザーの柳瀬勝彦様を講師にお招きし、御指導をいただきました。「デジタルタトゥー」やスマホの使い過ぎと学力や健康との関係など、様々なことを学びました。



## 薬物乱用防止教室 11/19(火)

東京税関の方を講師としてお招きし、保護者の参加もいただき全校で薬物乱用防止教室を行いました。前半は、関税のお仕事や薬物の恐ろしさについて勉強し、後半は、麻薬探知犬によるデモンストレーションを行いました。生徒達は税関の役割や麻薬探知犬の働きについて真剣に学んでいました。



# 南中の夢 絆 感謝

## 1 第3回PTA理事会 12/11(水)

会議室で第3回南中PTA理事会が行われました。各学年主任からの話や本部・各委員会・各地区からの事業報告と計画、次年度の役員選考等が話し合われました。その後、11月10日に行われた「市P連スポーツ大会」の表彰が行われました。PTAも頑張る南中です！



## 2学期の「夢・絆・感謝」でキラリ賞(校長賞) 12/24(火)

今学期は、1年生5名、2年生4名、3年生3名が表彰され、賞状と盾が授与されました。おめでとうございます。また、今学期から「学びのキラリ賞」として、毎日の家庭学習取組時間において、各学年の目標時間を達成した生徒(161名)には、南中オリジナルクリアファイルが贈呈されました。



## 「学校応援団」と生徒による芋掘り 12/3(火)

校庭にある学校ファームで、学校応援団の方のご指導の下、生徒による芋掘りが行われました。生徒達は笑顔いっぱい芋掘りを行っていました。収穫した芋は後日、生徒達が嬉しそうに家に持ち帰りました。

